

竹島の日（H22. 2. 22）以降の動向

- 3月23日 第2期日韓歴史共同研究委員会が委員会報告書を公開。議題に竹島が取り上げられず。
- 30日 来春から使用される小学校教科書の検定結果が公表。検定意見で竹島の西側に国境線を加筆。全社会科学教科書に竹島が取り上げられる。
⇒ 知事が「領土に対する認識が深まることを期待する」とのコメントを発表。
- 4月6日 政府が「外交青書」を公表。竹島について「日本の固有の領土」と明記。
- 7日 岡田外相、衆議院外交委員会で「不法占拠」使わず。
⇒ 6月22日、県議会本会議で「竹島に関して政府に毅然とした外交姿勢を求める意見書」が賛成多数で採択。
- 16日 韓国が竹島周辺海域で地質調査を実施すると公表。
⇒ 外務副大臣が韓国駐日大使に抗議。
⇒ 知事が「こうした問題が起きないように、日韓両国政府間の交渉を行う必要がある」とのコメントを発表。
- 29日 第3回竹島問題研究会を開催。
- 5月15日 日本青年会議所熊本ブロック協議会主催の「領土領海セミナー」に講師を派遣し、竹島問題の啓発を実施。
- 17、18日 県の重点要望を実施。竹島関係では、内閣官房・内閣府・外務省・総務省・文科科学省・農林水産省・国土交通省の政務三役、そして県選出国会議員に対して要望。
- 30日 「県土・竹島を守る会」の総会に出席。
- 6月 故田村清三郎氏が著した「島根県竹島問題の新研究（復刻補訂版）」を発刊。
- 18日 イギリス・シェフィールド大学院生の研究取材を受ける。
- 19、20日 第15回東アジア近代史学会への参加。
- 7月5日 隠岐の島町教育委員の研修を竹島資料室で実施。
- 23日 第3回竹島/独島研究会（島根県立大学 NEAR センター主催）への参加。
- 28日 政府が「防衛白書」の公表を9月以降に先送りする旨が報道される。
⇒ 知事が定例記者会見で「国民に誤解が生じないように対応を求めたい」と発言。
- 29、30日 神戸市立博物館、私設の資料館（守口市）において資料調査を実施。
- 8月2日 西郷港に設置する竹島問題啓発広告塔の除幕式を挙げる。
- 2、3日 教科書会社（6社）に竹島の記述を求める要望活動を実施。
- 3日 元久見漁協組合長の故脇田敏氏の遺品（竹島での最後の漁の様子が見られる記録等）が県に寄贈された。
- 20日 竹島周辺に出漁していた漁業者（出雲市地合町）への聞き取り調査を実施。
- 22日 第1回竹島問題を考える講座を開催。知夫中学校の常角校長が「隠岐の中学校における領土問題の教育」と題して講演。
- 23日 第4回竹島問題研究会を開催。